



# 感染性胃腸炎に注意 手をよく洗いましょう!

## 感染症発生動向速報

(令和5年第21週分・5月22日～5月28日)

### 《インフォメーション》

#### ●感染性胃腸炎

今週、県内の小児科定点医療機関からの感染性胃腸炎の報告数は9.28人/定点となりました。今年に入り、第3週以降、2015～19年平均を上回る患者数が報告されていましたが、第21週時点では、2015～19年平均と同程度まで低下しています(図参照)。

感染性胃腸炎は、ウイルスまたは細菌などの病原体による下痢、おう吐を主症状とする感染症の総称です。ウイルスを原因とするものが多く、今年衛生研究所ウイルス部で実施した検査では、ノロウイルス、アデノウイルス、サポウイルス等が検出されています。また、県内の基幹定点医療機関で報告されたロタウイルスによる感染性胃腸炎は2017年の58例をピークに減少し、2020年以降は年間5例未満で推移していました。しかし、先週以降ロタウイルスによる感染性胃腸炎が基幹定点医療機関から4例報告されており、注意が必要です(表参照)。

ロタウイルスは、乳幼児の急性胃腸炎の主な原因ウイルスです。糞口感染により伝播し、感染すると2～4日の潜伏期間の後、下痢、嘔吐、発熱などの症状を引き起こします。その後、重い脱水症状が数日続くことがあります。合併症として、けいれん、肝機能障害、急性腎不全、脳炎・脳症が起こることがあります。2020年10月からロタウイルスワクチンが乳幼児を対象として定期接種化されました。国内では2種類のロタウイルスワクチン(1価と5価)が承認されており、生後6週から1価ワクチンでは2回、5価ワクチンでは3回の経口接種が行われます。国内では、ロタウイルスワクチン接種の5歳未満児のロタウイルス胃腸炎による入院率に対する有効性が報告されています。

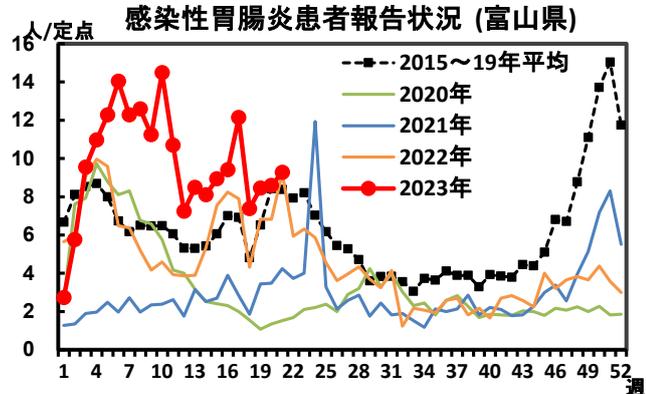
一般的にこれから気温が上昇すると、細菌を原因とした感染性胃腸炎の報告数が増加します。食事の前、排せつ後等にこまめに石鹸と流水を使って手洗いをしたり、調理をする際に食べ物をよく加熱することを心がけるなどして予防に努めましょう。

### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 3件 (①70歳代、男性 ②70歳代、女性 ③70歳代、女性)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 (70歳代、女性、G群)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (70歳代、男性)
- 梅毒 1件 (①第20週診断分：20歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
		今週 (増減)	先週
順位	疾病名		
1位	感染性胃腸炎	9.28 (↑)	8.59
2位	COVID-19	2.79 (↓)	4.13
3位	ヘルパンギーナ	2.62 (↑)	0.79
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.55 (↓)	3.52
5位	RSウイルス感染症	1.00 (↓)	1.52
6位	咽頭結膜熱	0.69 (↓)	1.21



感染性胃腸炎(ロタウイルス)の年別報告数(富山県)

年	報告数 <sup>※1</sup>
2014	36
2015	33
2016	26
2017	58
2018	16
2019	18
2020	4
2021	1
2022	2
2023 <sup>※2</sup>	4

※1 基幹定点医療機関から報告(5定点)  
※2 第21週時点の速報値



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第21週 令和5年5月22日～令和5年5月28日）

分類	疾患	今週報告分（第21週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			1		2	3	2	4	14	3	36	59	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1			1	2	
	四類感染症	オウム病									1			1	
		レジオネラ症									8	1		4	13
	五類感染症	アメーバ赤痢												1	1
		ウイルス性肝炎									1				1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4			4	8
		急性脳炎										1			1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1				1			5	1	4	10
		侵襲性インフルエンザ菌感染症											1	3	4
		侵襲性肺炎球菌感染症						1	1		2	3		9	14
		水痘（入院例）									1			3	4
	梅毒										1	1	8	10	
インフルエンザ/ COVID-19定点 (48定点)	インフルエンザ	7		1	1	6	15	789	1,366	3,289	1,106	4,658	11,208		
	COVID-19（※1）	1.00		0.08	0.14	0.38	0.31								
小児科定点 (29定点)	RSウイルス感染症	26	12	39	23	34	134	115	61	148	75	133	532		
		3.71	2.40	3.00	3.29	2.13	2.79								
	RSウイルス感染症	2	4	6		17	29	28	67	191	136	213	635		
		0.50	1.33	0.75		1.70	1.00								
	咽頭結膜熱	2		10		8	20	39	25	110	39	86	299		
		0.50		1.25		0.80	0.69								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3		39		32	74	20	4	413	1	280	718		
		0.75		4.88		3.20	2.55								
	感染性胃腸炎	18	27	37	63	124	269	457	564	1,068	660	3,184	5,933		
		4.50	9.00	4.63	15.75	12.40	9.28								
	水痘	1		3	1	2	7	2	9	19	4	37	71		
		0.25		0.38	0.25	0.20	0.24								
	手足口病			9	1	6	16			26	1	20	47		
			1.13	0.25	0.60	0.55									
伝染性紅斑											3	3			
突発性発しん	1	1	5		3	10	11	17	55	12	35	130			
	0.25	0.33	0.63		0.30	0.34									
ヘルパンギーナ		3	53	10	10	76	19	3	81	15	17	135			
		1.00	6.63	2.50	1.00	2.62									
流行性耳下腺炎									8	1	3	12			
眼科定点 (7定点)	流行性角結膜炎			2		1	3	1		16		1	18		
				1.00		0.50	0.43								
基幹定点 (5定点)	マイコプラズマ肺炎			1			1			2			2		
				1.00			0.20								
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）				1		1				4		4		
					1.00		0.20								
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）				1		1	3	3	13	18	32	69		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。

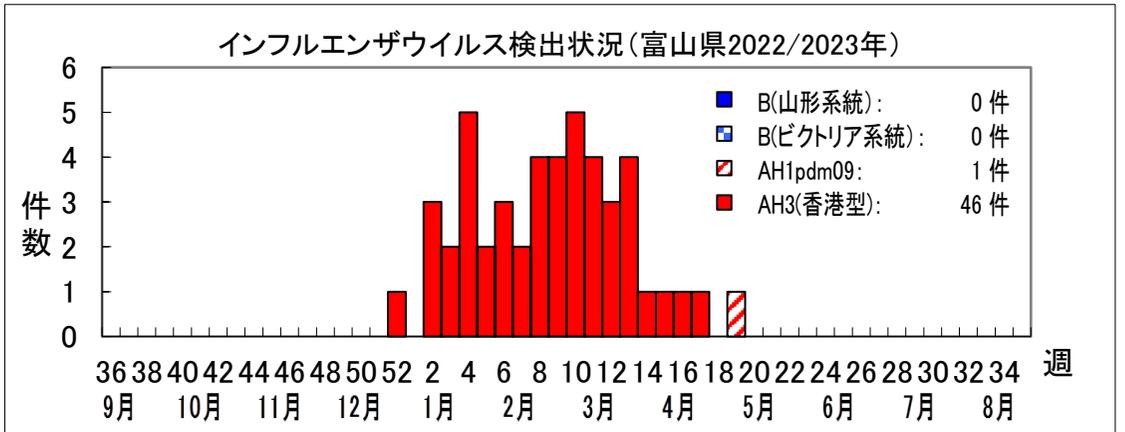
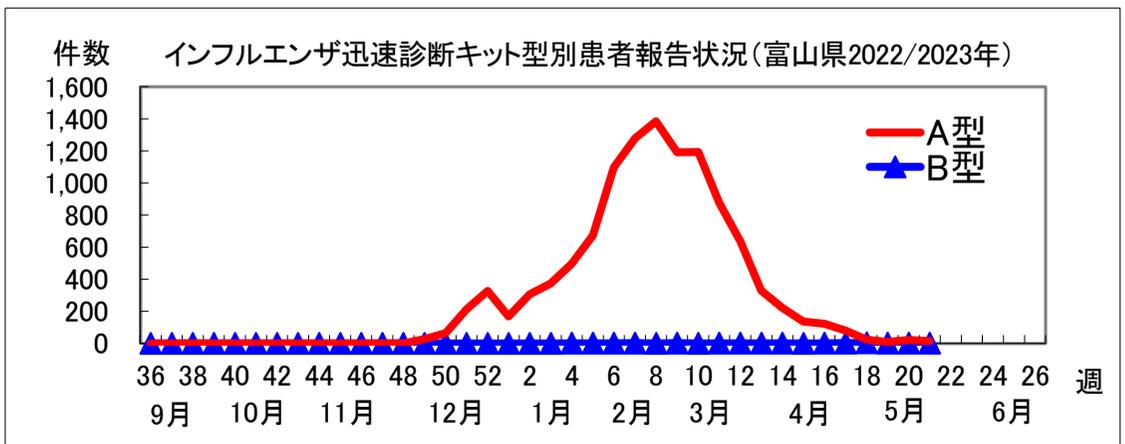
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が93.3%となっています。

### 第21週(5/22~5/28)：富山県 0.31人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	4 / 7	7	0	0	7
中部	0 / 5	0	0	0	0
高岡	1 / 13	1	0	0	1
砺波	1 / 7	1	0	0	1
富山市	3 / 16	5	1	0	6
富山県	9 / 48 <sup>※1</sup>	14	1	0	15
富山県累計(2022年36週~)		11,270	21	560	11,851

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が9か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



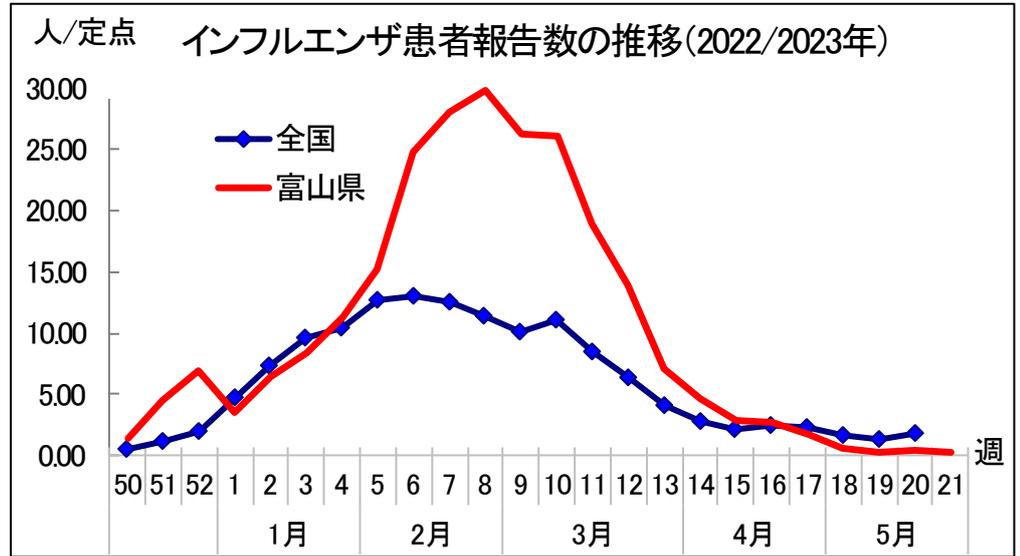


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 21 週 (5/22~5/28) : 富山県 0.31 人/定点

新川 HC (1.00)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (0.08)、砺波 HC (0.14)、富山市 HC (0.38)

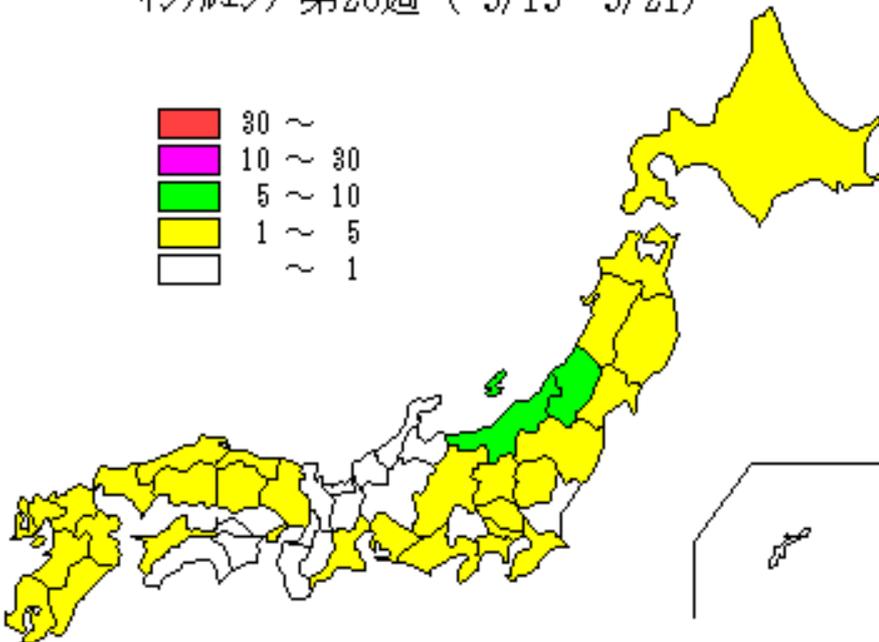
県内の患者報告数は流行の目安である 1.0 人/定点未満の低値で推移しています。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 20 週 (5/15~5/21)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 1.89 人となり、前週の 1.35 人より増加しました。36 都道府県で前週より増加しています。11 県で前週より減少しています。

インフルエンザ第20週 (5/15- 5/21)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.98	滋賀県	0.87
青森県	2.72	京都府	0.90
岩手県	2.35	大阪府	0.71
宮城県	3.18	兵庫県	2.52
秋田県	3.31	奈良県	0.93
山形県	5.63	和歌山県	0.49
福島県	3.49	鳥取県	1.62
茨城県	0.82	島根県	1.21
栃木県	1.68	岡山県	1.35
群馬県	4.54	広島県	2.88
埼玉県	2.17	山口県	1.73
千葉県	2.00	徳島県	0.49
東京都	2.01	香川県	0.40
神奈川県	1.09	愛媛県	3.66
新潟県	5.92	高知県	0.98
富山県	0.46	福岡県	1.16
石川県	0.08	佐賀県	1.56
福井県	0.13	長崎県	2.21
山梨県	0.22	熊本県	3.05
長野県	2.23	大分県	1.71
岐阜県	0.94	宮崎県	4.53
静岡県	1.74	鹿児島県	1.88
愛知県	1.98	沖縄県	0.61
三重県	1.86	全国	1.89